



未来へつながる美幌をめざして！

1/27 美幌町130年記念「高校生模擬議会」

高校生議会が開催され、美幌高校の生徒が、まちづくりの思いを町長にぶつけました。

びほろ町

ざかい

3月定例会のあらまし

行政報告・補正予算など 2 P
平成30年新年度予算質疑 4 P

こんなことを聞きました

一般質問 9人登壇 7 P

2月臨時会のあらまし

峠の湯びほろの指定管理者が決定 16 P

130年記念事業・高校生議会を開催

美幌高校の生徒14人が一般質問で登壇 17 P

広報の発行は、5月・8月・11月・2月の年4回です。

No.228 平成30年5月1日

◇発行／北海道美幌町議会 ◇編集／議会運営委員会



3月定例会のあらまし

【6日】会期を17日間と決定し、町長から行政報告を受けた後、総務文教厚生常任委員会が事務調査結果を報告、オホーツク町村公平委員会委員の選任、町道路線の一部廃止など、29年度関連議案を審議し、原案どおり可決しました。続いて、30年度関連議案を一括上程し、町政執行方針と教育行政執行方針が示された後、議員1名（戸澤）が一般質問に登壇。美幌駐屯部隊充実整備期成会の活動などについて活発な議論が交わされました。

【7日】議員5名（中嶋・坂田・稲垣・吉住・高橋）が一般質問に登壇。おたふくかぜ予防接種、低年齢児の保育計画、持続可能な行政運営、災害対策、空き家対策などについて活発な議論が交わされました。

【8日】議員3名（大江・上杉・岡本）が一般質問に登壇。特定健診の受診率向上、人口ビジョンの検証、美幌高校の支援などについて活発な議論が交わされました。その後、町長から美幌町出身者の平昌オリンピック出場結果などの追加行政報告、補正予算などの追加議案を審議し、各担当部長から新年度関連議案について説明を受けました。

【9日】前日に引き続き、各担当部長から新年度関連議案について説明を受けました。

【12、13日】休憩中に、各議員が新年度予算案に対する疑問点を整理しました。

【14、15日】議決休会とし、各議員が疑問点を整理し、資料を要求したものに対して、関係部局が資料を作成しました。

【16、19、20日】新年度予算案など議案に対する質疑を行いました。

【22日】新年度予算案に対する質疑を行い、会派等審議を行った後、新年度関連議案の表決が行われ、全て原案どおり可決しました。その後、定期監査報告など2件の報告を受け、各常任委員会からの「閉会中の継続調査」の申し出を承認し、全日程を終了し閉会しました。

町長の行政報告（要旨）

◆ご寄附について

匿名の方から、町民会館および「びほーる」のフルコンサートピアノを早期に整備するために役立ててほしいと、1千万円をご寄附いただきました。

ご厚志をありがたくお受けし、ご趣旨に沿って、平成30年度の購入に向け、準備を進めていきます。

◆美幌町出身者の平昌オリンピック出場結果について

韓国・平昌オリンピック冬季競技大会に、本町出身の選手3名が日本代表として出場し活躍しました。

次代を担う子どもたちをはじめ、多くの町民に夢と希望を与えていただいた功績を讃え、石田正子選手（クロスカントリースキー）、三橋李奈選手（バイアスロン競技）、一戸誠太郎選手（スピードスケート）に表彰したいと考えています。

◆美幌町立国民健康保険病院の医師の退職について

森崎善久外科医師の退職が決定しました。外科の常勤医師が1名体制となりますので、後任医師の確保に向けて、最大限の努力をしていきます。



～ 石田選手 表敬訪問 ～

こんなことを決めました

補正予算

平成29年度補正予算(一般会計・4特別会計・2事業会計)は全て原案どおり可決しました。主な補正内容は次のとおりです。

一般会計

- 役場庁舎改築基金積立金 9千万円
- 担い手確保・経営強化支援事業(大豆コンバイン)補助金 469万5千円
- 芸術文化振興基金積立金 1千万円



～ 大豆コンバイン ～

特別会計・企業会計

- 国民健康保険特別会計は、共同事業の確定に伴う拠出金の減額補正
- 後期高齢者医療特別会計は、電算機器経費の確定に伴う事務費の減額補正
- 介護保険特別会計は、利用者増加に伴う高額介護サービス給付費の増額補正
- 公共下水道特別会計は、建設事業費の確定に伴う減額補正
- 個別排水処理特別会計は、個別浄化槽設置工事費の確定に伴う減額補正
- 水道事業会計は、水道管路整備事業の確定に伴う減額補正
- 病院事業会計は、医療機器更新事業の確定に伴う減額補正

各会計補正額と補正後の総額

会 計 名	補 正 額	補正後の総額
一 般 会 計 (第11号)(第12号)	△5,654万円	111億3,255万円
国民健康保険特別会計(第4号)	△958万円	30億6,641万円
後期高齢者医療特別会計(第3号)	△11万円	2億8,626万円
介護保険特別会計(第6号)	198万円	18億148万円
公共下水道特別会計(第4号)	△1億517万円	10億4,311万円
個別排水処理特別会計(第3号)	△105万円	9,553万円
水 道 事 業 会 計(第3号)	△23,777万円	8億4,123万円
病 院 事 業 会 計(第4号)	△9,353万円	25億6,600万円

※()内は、補正回数
※金額は、万円未満を切り捨てて表示しています。

総務文教厚生常任委員会事務調査報告

総務文教厚生常任委員会では、先進地調査等により意見を集約し報告しました。

1) 学力向上・習熟度向上対策について(要旨)

- ア 石狩市立花川小学校の学力向上の取り組みについて調査した結果、目標を達成するために最も重要なのは、人の力の総和であることを改めて確認することができた。美幌町の教職員全員が同じ目標に向かうよう、学校全体がチームとなった学校力向上に期待したい。
- イ 学習時の正しい姿勢「立腰(りつよう)」や机上のルールを意識させるなど、学習規律定着の取り組みにより、児童の集中力向上を期待する。
- ウ 美幌町においても習熟度向上のため、町独自の教員定数加配の取り組みなどが行われているが、今後、小学校高学年の英語が教科と位置づけられ、これまで以上の準備、支障が出ない体制づくりが不可欠である。財政負担の問題もあるが、美幌町独自の教員定数加配に力を入れるなど体制づくりの充実を望む。
- エ 児童、教職員、保護者、地域の方々が一体となった取り組みにより、学力の向上を期待したい。

2) 移住定住・人口減少対策について(要旨)

- ア 東川町は、町の特長を活かした東川スタイルを情報発信し知名度を高めている。美幌町は国道4本が交差する交通の要衝であることや空港へのアクセスの利便性、国保病院を基幹とした病診連携の安心のまちなど、立地条件の良さを前面に出し、より積極的な情報発信を望みたい。
- イ 進行する人口減少を緩やかに抑えるためにも、若者が起業しやすい支援策の拡充、住宅取得助成、子育て支援策の拡充など若者の移住促進に効果的な施策の実施を期待したい。
- ウ 人口減少対策のための事業を重点化し、ふるさと納税(寄附金)を活用した取り組みを進め、町の営業マンとして町長と職員が一体となった挑戦するまちづくりに期待したい。

一般会計 109億1千228万円

役場庁舎及び消防庁舎の改築・
屋内多目的運動場の整備・
スポーツセンター耐震補強工事など

平成30年度の予算編成にあたっては、健全財政化の取り組みを継続しつつ、第6期美幌町総合計画事業の推進をはじめ、美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組み、美幌町公共施設等総合管理計画を着実に実行するための経費を積み上げた結果、一般会計は、昨年並みの109億円の前算規模となりました。

役場庁舎及び消防庁舎の改築、屋内多目的運動場の整備、町民会館の改築工事、スポーツセンター耐震補強工事などの公共施設の整備を行い、子育て支援においては、認定こども園の改築補助、子ども医療費の助成拡大など未来へつながる投資を確実に進めるための予算です。
ここでは、一般会計を中心に、予算質疑の内容をお知らせします。

総務費

役場庁舎建設設計

業務委託料

(3千444万8千円)

問 業務委託契約の方法は。

答 委託契約は、公募型プロポーザル形式で行う。契約を希望する業者から参加表明を受け付け、「美幌町新庁舎建設基本構想」に基づく、プレゼンテーション及びヒアリングを実施し、1社を選定する。

民生費

認定こども園

施設整備補助

(1億7千215万6千円)

問 補助金及び整備の内容は。

答 補助金は美幌藤幼稚園の園舎改築に伴うもので、国と町で負担する。



～ 美幌藤幼稚園 ～

衛生費

特定不妊治療費補助

(225万円)

問 補助金の内容及び目的は。

答 保険適用外の費用を助成し、不妊治療を受ける夫婦の経済的負担の軽減と少子化対策の推進を図ることを目的としている。助成額については、道の助成額を上回る治療費について、1回15万円を上限とする。

農林水産業費

入学祝！木づかい事業

(22万5千円)

問 具体的な事業内容は。

答 町産認証材の普及促進を進めるために、町内小学校入学生徒に対して、入学祝いとして町産認証材で製作したペン立てを贈呈する。



～ 入学祝「ペン立て」～

商工費

「峠の湯」源泉改修調査委託料(172万8千円)

問 調査の内容は。

答 「峠の湯びほろ」の湯温が低下しているため、温泉井戸にカメラを入れ、



～ 峠の湯びほろ ～

特産品開発支援

事業補助(100万円)

問 事業の内容は。

答 商工会議所が開始した美幌ブランド認証制度と連携し、地域資源を活用した特産品開発を支援し、官民一体となった特産品の開発を支援する。補助限度額は50万円。



美幌特産 峠の湯びほろ

一般会計歳出予算と主な事業

◆新規事業 ◇拡充事業 (対前年比)

議会費	8,300万円	(△0.4%)
総務費	5億2,276万4千円	(15.8%)
◆役場庁舎建設設計業務委託料	3,444万8千円	
◆東町集会室改築工事	5,037万2千円	
民生費	27億7,647万9千円	(18.2%)
◆認定こども園改築に伴う補助金	2億6,100万2千円	
◇子どものための教育・保育給付費負担金	2億1,116万7千円	
◆一時預かり事業委託料	9,500万円	
衛生費	9億9,429万8千円	(10.2%)
◇乳幼児等医療費助成事業	5,046万1千円	
◆廃棄物処理場雨水排水整備工事	4,962万6千円	
労働費	3,322万5千円	(0.8%)
農林水産業費	5億6,097万4千円	(6.7%)
◆豊栄地区営農用浄水施設修繕料	2,020万円	
◇町有林造林事業	5,455万3千円	

商工費	4億6,064万1千円	(△9.2%)
◇交流促進センター(峠の湯)維持管理委託料	1千300万円	
◆交流促進センター(峠の湯)回数券原価補償金	315万円	
◆美幌町観光まちづくり協議会負担金	140万円	
土木費	11億6,678万1千円	(△14.4%)
◇道路整備事業	1億4,085万4千円	
消防費	4億9,866万2千円	(6.0%)
◆消防庁舎改築基本設計業務委託料	2,998万円	
教育費	14億215万9千円	(△27.5%)
◆スポーツセンター改修等整備事業	2億8,947万1千円	
◆屋内多目的運動場建設工事基本設計委託料	595万7千円	
公債費	10億9,264万2千円	(△0.8%)
職員給与費	13億1,966万1千円	(△0.7%)
予備費	100万円	(0.0%)
合計	109億1,228万6千円	(△1.3%)

土木費

住宅リフォーム事業
補助(4千719万円)

問 積算内容及び平成31年度以降の計画は。

答 1件当たり平均36万3千円、130件分の予算を計上している。本事業の継続については、住宅のバリアフリー化や長寿命化をはじめ、高い経済波及効果があることから、需要を把握し検討していきたい。

教育費

美幌高等学校

教育支援事業補助

(317万3千円)

問 事業内容及び目的は。

答 美幌高等学校の生徒確保及び間口確保のために、報徳寮の運営費を補助し、中学校へのPR活動を支援する。



～ 美幌高校報徳寮 ～

小・中学校校務

支援システム導入

(361万2千円)

問 システム導入目的は。

答 個々の教職員で行われている校務情報の管理を学校全体で情報管理するもので、校務の効率化と教職員の事務負担軽減、セキュリティ対策を図る。



～ スポーツセンター ～

スポーツセンター

耐震補強工事

(2億6千572万4千円)

問 工事内容は。

答 主な工事内容は、屋根ブレース補強改修、窓建具改修、照明器具のLED化、2階ベンチ改修、放送設備の新設など。

介護保険特別会計

運動指導業務負担金

(832万5千円)

問 負担金及び運動指導の内容は。

答 保健福祉総合センター(しゃきつとプラザ)運動指導室・健康遊浴室の指導員に支払う賃金のうち、介護保険被保険者分として負担するもの。

指導員が、一人ひとりに合った運動方法を教え、利用者が無理なく健康増進し、介護予防を図ることを目的としている。



～ しゃきつとプラザ運動指導室 ～

病院事業会計

病院医療事務等委託

(3千132万4千円)

問 本予算で会計の迅速化を図れるか。

答 診療部門と事務部門の連携を密にし、診療報酬請求の精度向上対策を進め、業務内容の見直しを図りたい。



～ 国民健康保険病院 ～

子ども医療費助成の対象を中学生まで拡大

平成30年3月定例会では、19件の条例制定・改正、指定管理者の指定について審議し、すべて原案どおり可決しました。ここでは、主な条例改正についてお知らせします。

■美幌町乳幼児等医療費の助成に関する条例改正

通院医療費の助成対象範囲を小学校就学前から中学校卒業まで拡大（平成30年8月から）



【改正後】

受給資格者	世帯の住民税課税状況	診療区分ごとの助成可否					自己負担割合
		入院	外来	歯科	調剤	柔整	
3歳未満	課税 非課税	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	なし
3歳～小学校就学前	非課税 課税	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	0.5割
小学生	非課税 課税	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	なし 0.5割
中学生	非課税 課税	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	なし 0.5割

■指定管理者の指定

- (1) 美幌峠レストハウス展望休憩室（美幌商工会議所）
- (2) 美幌ターミナル物産センター（美幌観光物産協会）
- (3) 美幌町職業訓練センター（美幌職業訓練協会）
- (4) 美幌みどりの村（美幌みどりの村振興公社）
- (5) 美幌町あさひ体育センター及びテニスコート（美幌町体育協会）

※ カッコ内が選定された指定管理者



～ ターミナル物産センター ～

一般質問

9人が登壇

質問者と質問項目

■戸澤 義典 議員：… 7 頁

- ① 美幌駐屯部隊充実整備
期成会の活動

② J R 石北線問題

③ 街路灯等 LED 化

■中嶋 すみ江 議員：… 8 頁

- ① おたふくかぜの予防

② 認知症対策

■坂田 美栄子 議員：… 9 頁

- ③ 学校の防災・減災対策強化

② 低年齢児の保育計画

② 一時預かり保育事業

③ 産後ケアの取り組み

■稲垣 淳一 議員：… 10 頁

- ① 持続可能な行政運営

■吉住 博幸 議員：… 11 頁

- ① 避難所等の貯水槽の設備

② びほろピアノ購入寄附金

■高橋 秀明 議員：… 12 頁

- ① 空き家・空き地対策

② 観光政策の方向性

③ びほろの機材整備

一般質問とは

一般質問は定例会において、議員が町政全般にわたり執行機関（町や教育委員会など）に対し、事務執行の状況や将来に対する方針の考え方、疑問点などについて質問するものです。

一般質問は議員固有の権限の一つで、議案審議とともに議会活動の中において最も重要なものであり、行政の執行を監視し、建設的に政策を論議することで、公正な行政を確保するものです。

■大江 道男 議員：… 13 頁

- ① 特定健診・

がん検診の受診率向上

- ② 就学援助制度の改善

■上杉 晃央 議員：… 14 頁

- ① 人口ビジョンの検証

及び総合戦略の改訂

- ② 主要事業等の

アンケート実施

■岡本 美代子 議員：… 15 頁

- ① 美幌高校の支援

- ② 特産品開発

- ③ 役場庁舎改築の

エネルギー対策

こんなことを決めました

美幌駐屯地

問 駐屯部隊充実整備期成会の活動成果は戸澤
義典議員**答 自衛隊体制見直しの影響を最小限に抑えた****問** 美幌駐屯部隊充
実整備期成会の陳情
活動内容について、美幌駐屯地各部隊の
特性を踏まえた要望
の重要性や陳情要員
の選考方法など、こ
れまで様々な提言を
したが、期成会とし
てどのような活動を行
ってきたのか。**答** 期成会の総会・
役員会において、年
間の事業計画・陳情
内容・陳情者を決定
し、期成会の会長・役員その他、隊友会、
家族会、女性協力会
などの協力諸団体に
より第5旅団、第1
特科団、北部方面総
監部、防衛省などに
対して陳情活動を行
っている。**問** 陳情活動により、
どのような成果があ
ったのか。**答** 美幌駐屯部隊の
規模縮小は地域の存
続に大きな影響を与
えるなど、地域の実
情を強く訴えること
で、自衛隊の体制見
直しが進む中、美幌
駐屯部隊への影響を
最小限に抑えること
ができたことと受け止
めている。今後は、防衛政策を見据えた具
体的な陳情活動を展
開し、事業費を増額
して目に見える行動
を実践していきたい。**JR石北線廃止**

どのような影響が

問 JR石北線の廃
止により、農産物等
の物流への影響や観
光客の入込数減少な
どが予測されるが、
どのような分析をし
ているのか。**答** 物流においては、
美幌町から、玉ねぎ、
馬鈴薯、砂糖、どん
粉などが輸送されて
いるが、石北線廃止
による輸送手段変更
によるコスト増や消費者への安定供給が
できないことが懸念
される。また、路線は学生
の重要な通学手段で
あり、バスを代替え
交通とした場合の運
賃の負担増などの影
響が考えられる。**街路灯LED化**

事業内容は

問 美幌町の街路灯
・防犯灯をLED化
することになった経
緯について伺いたい。**答** 事業を実施する
ことになった経緯は、
自治会所有の防犯灯
を町で維持管理してほしいとの要望があ
ったこと。2020
年に水銀灯の製造が
廃止となり、ランプ
の入手が困難になる
こと。LED化によ
り電気料金が軽減で
きることが挙げられ
る。**問** 今後の具体的な
事業予定は。**答** 町内には街路灯
・防犯灯が、2、3
08灯あり、うち、
2、250灯をLED
化し、工事期間は
平成30年9月から11
月までを予定してい
る。

予防接種

問 おたふくかぜ予防助成の考えは

中嶋
すみ江議員

答 国の検討状況等を考慮し検討したい



問 おたふくかぜ(流行性耳下腺炎)は、

難聴などの合併症を起こし重症化する可能性があることが、日本耳鼻咽喉科学会から発表された。予防接種費用を助成する考えはないか。

答 おたふくかぜのワクチン接種は任意で、小学校入学前までに2回接種することが推奨されている。現在、町で予防接種費用を助成する考え



はないが、乳幼児健診など、あらゆる場面で予防接種の重要性について周知していきたい。

また、ワクチンの定期接種化については、国で検討が続けられていることから、その推移や他市町村の実態を考慮し検討したい。

認知症損害賠償

保険料の負担は

問 認知症の方が徘徊中に第三者にけが

をさせたり、物を壊したりして家族が損害賠償を求められる事態に備え、個人賠償責任保険料を負担する自治体がある。

認知症に対する不安や家族が安心して介護できる環境を整えるため、町で保険料を負担する考えは。

答 個人賠償責任保険を掛けなければならぬ状況は、わが国が超高齢社会として、認知症の人が増え続ける実態を裏付



～ 認知症サポーター「オレンジリング」～

けるものだが、物損事故などの事案は、認知症の人に限らず、誰でも引き起こす可能性があり、自己又は家族の責任で解決するものと理解している。

町では認知症徘徊防止対策として、SOSネットワーク「あんしんねつとびほろ」の活用や徘徊する人の位置情報検索機器の貸出事業に取り組んでいきたい。

学校避難所

強化の考えは

問 学校は災害時の避難場所となっており、国の予算でも、

防災・減災対策の学校施設等整備費用を計上している。避難所機能強化の取り組み予定は。

答 本町は、全小中学校が避難所として指定されており、防災倉庫・避難所用防災備蓄品についても、災害時備蓄計画に基づき、各避難所に環境整備を図っている。全小中学校が耐震化され、トイレも水洗化されているが、今後は老朽化対策が必要なため、年次的に修繕を進め、国の事業等の活用を検討していきたい。

保育事業

問 低年齢保育の要望にどう答えるのか

坂田
美栄子 議員

答 保育園統合による0歳児保育等を検討する



問 美幌町の出生数は、年々減少し、夫婦共働きや共働きを望む家庭の増加など、子どもと家庭を取り巻く環境は大きく変化している。

特に低年齢児保育を希望する家庭は増加傾向にあり、今後ますますニーズが高まっていくと思われる。低年齢児保育について、町長の考えは。

答 低年齢児保育の

要望が増加傾向にあることは認識しているが、町保育園の施設規模や保育士確保の問題があり、入園を全て受け入れることは難しい。

今後は、老朽化が進んでいる、2つの町保育園の統合による0歳児保育を含め運営していくことを、経営母体も含め検討したい。

また、平成30年度に美幌藤幼稚園の園舎を建て替え、低年齢児の定員を増員する予定となっており、町として補助金を交付し支援していきたい。



～ 東陽保育園 ～

一時預かり保育

現状認識は

問 様々な理由から町の保育園での一時預かり保育を希望する方が増えているが、利用を断られるケースもあると聞いた。

現状をどのように認識され、今後の対応策をどのように考えているのか。

答 平成27年度から

預かり日数を拡大したこともあり利用人数が増加している。今後の利用者増加に対応するためには、場所及び保育士の確保が必要になってくる。

場所については、子ども発達支援センターが移転した跡を活用し満たされているが、保育士の確保について、引き続き努力し運営方法の工夫など検討したい。

国保病院婦人科

産後ケアの予定は

問 出産後、心身の不調や育児の悩みを抱える母親を医療機関がサポートする産後ケアの取り組みが全国で広がっている。

乳児への虐待防止策としても注目され

る産後ケアだが、4月から婦人科の診療が開始される国保病院での対応、取り組み予定は。

答 産後ケア事業の実施方法の一つとして、医療機関の空きベッドを活用する宿泊型があるが、活用にあたっては、実務担当者（助産師、保健師、看護師など）を配置することが望ましいとされている。

国保病院の婦人科では、分娩を含む産科については取り扱わないため、助産師を配置する予定はなく、産後ケアに取り組む予定はないが、産婦人科医師の意見を聞きながら、保健師や地域の助産師とともに研究・検討していきたい。

行政運営

問 手数料・使用料の見直しは

稲垣

淳一議員

答 消費税率の引き上げに併せ検討したい



問 地方自治体の行政運営を持続可能とするためには、健全な歳入と適切な歳出が求められ、税収を

補完するためには、積極的に税外収入を増やしていく必要がある。

美幌町における各種証明書発行手数料、各施設使用料の設定・見直しについての

町長の考えは。

答 手数料の設定・見直しについては、

受益と負担の公平性を確保し、適切な負担を求めることが必要と考えている。料金

の設定は、原価計算（コスト計算）を行い、近隣自治体・類似施設との均衡・施設の設置目的や性格を考慮して決定している。

今後は、平成31年の消費税率の引き上げに併せ、必要に応じて見直しを実施したい。

ネーミングライツ

利活用への考えは

問 企業の社名や商品ブランド名を公共施設等に名称として

付与する権利「ネーミングライツ」利活用の検討状況は。

答 「ネーミングライツ」は、スポンサーにとつて、知名度やマスコミへの露出

度が高い魅力的な公共施設を保有する大規模都市や道府県での導入が多く、新たな収入増加やスポンサー企業との連携による地域活性化などのメリットがある。

一方、地域住民の反発や度重なる名称変更による混乱などのデメリットもある。

今後、これらの課題を整理し調査・研究を行っていききたい。

ネーミングライツ とは …

1980年代以降、米国で定着した。主としてスポーツ施設の建設・運用資金調達のための手法。施設の名称にスポンサー企業の社名やブランド名を付与する、広告概念。

クラウドファンディング

利活用への考えは

問 個人や団体の企画立案者がインターネット等を通じて、

不特定多数の支援者から事業実施のための財源や活動資金を調達する「クラウドファンディング」利活用の検討状況は。

答 平成30年度から開始される「クラウドファンディング型ふるさと納税」と言われる「ふるさと起

クラウドファンディング とは …

ある目的、志などのため不特定多数の人から資金を集める行為。実施者は、インターネットを利用して不特定多数の人々に比較的低額の資金提供を呼びかけ、必要とする金額が集まった時点でプロジェクトを実行。

業家支援プロジェクト、「ふるさと移住交流促進プロジェクト」の実施について検討中である。「クラウドファンディング」は、産業振興を中心とした地域活性化のための活動資金の調達方法として、地方自治体での利用の拡大が進んでいる。今後、両プログラムとともに、他自治体の事例も参考にしながら検討していきたい。

災害対策

問 災害時に利用する貯水槽を設置しては

吉住
博幸議員

答 多額なため施設の耐震化を優先したい



問 災害時における

飲料水の確保は必要不可欠であり、避難所や災害対策本部施設等には、飲料水確保のための貯水槽設備等を設置すべきと考えるがどうか。

答 地震の発生によ

り、水道施設が損壊した場合は、美幌町地域防災計画に基づき、生活用水の供給および給水施設の応急復旧にあたる。

生活用水の水源と

して、町が所有する給水タンクその他、美幌消防署の水槽車やポンプ車により給水活動を行う。

また、日並浄水場に緊急時応急給水拠点施設として配水池を整備している。さらに、災害時相互応援協定に基づき、他市町村及び日本水道協会北海道支部東地区協議会においても、応急給水などの応援体制も整備されている。

提言のあった貯水槽設備については、大規模な断水時の飲料水確保策として有効と考えるが、整備

には多額の費用を要するため、当面、基幹施設の耐震化を優先したい。



～ 町所有給水タンク ～

多額寄附

活用の考え方は

問 町への多額寄附

が多くなっている。

最近では「びほーる」のピアノ購入のための寄附も受けているが、具体的な用

途・目的が示されている寄附を受ける際、意思決定はどのような手順か伺いたい。

答 寄附を受ける際には、寄附者の寄附目的と行政需要・実施計画に沿うものか判断する。

寄附をいただいた後は、具体的な活用方法を検討し、寄附者の趣旨に沿った使い方をしている。



問 予算確保の考え方と執行時期の決定・実施は。

答 予算確保については、具体的な活用方法の検討結果に基づく予算措置、執行という形で進めている。

なお、「びほーる」のピアノ購入については、新たに1千万円の寄附があり、購入の財源確保が図られたことから、平成30年度の購入に向けて準備を進めていきたい。



空家問題 問 増加する空き家への対策は

高橋
秀明議員

答 相談体制の整備・計画策定を検討する



問 空き家・空き地問題が全国的に深刻である。

答 国・都道府県において、対策のための条例案等を整備しているが、最終的には各市町村が、地域に即した方策を検討する必要があるが、どのように対策を進めるのか。

答 美幌町でも、空き家は増加傾向にあるため、空き家の実態調査およびデータベース化を行った。

空き家の所有者に、

放置された空き家の危険性や周囲へ及ぼす悪影響などを認識してもらうため、広報紙、ホームページを活用し、空き家の適切な維持管理やその責任の所在について周知していきたい。

また、空き家に関する総合的な相談体制の整備や空き家対策計画の策定を検討し、総合的かつ計画的な対策を推進していきたい。

問 美幌町の空き家・空き地の状況は。

答 空き家と思われる566戸を対象として実態調査を実施

し、465戸を空き家と仮定した。

実態調査により、空き家の所有者が特定できたことから「空き家に関する意向調査」を実施し、取り扱いを確定したい。なお、空き地については調査の対象となっていない。

問 国・道が率先して観光関連予算の拡充を図り、観光による地域振興、地方創生の推進を図る動きが顕著となっている。美幌町も観光振興政策を図り、近隣市

観光政策

連携の考えは

町村との観光での連携協力、共存が必要と考えるがどうか。

答 先進的な取り組みを実施する「国立公園満喫プロジェクト」の一つとして、阿寒摩周国立公園が選定され、美幌峠園地等の再整備やレストハウスの2階改修、インバウンド対策のための施設整備を行っており、観光客の増加を期待している。

近隣市町村との連携協力については、ツアープログラムやプロモーション事業に取り組んでおり、今後は藻琴山、美幌峠、津別峠を結ぶ遊歩道を整備する「屈斜路カルデラ外輪山トレイルルート」の開発に取り組む予定となっている。

東北海道全体が一つの地域として進んで行けるよう、連携を強化していきたい。



～ リニューアルした峠レストハウス ～

フルコンサートピアノ

整備の考えは

問 「びほーる」のピアノ整備のため、多額の寄附を受けているが、整備の時期について伺いたい。

答 ピアノ購入に係る財源確保が概ね図られたことから、平成30年度の購入に向けて準備を進めていきたい。

特定健診

問 健診受診率向上の取り組みは

大江
道男議員

答 啓発のため積極的に地域に出向きたい



問 美幌町の平成28年度特定健診受診率、がん検診受診率が伸び悩んでいる。成人病やがん予防、医療費抑制のため、健（検）診受診率の抜本的向上が期待されるが、現状の受診状況の評価は。

答 健（検）診受診率は、全国・全道と比べて低い状況である。これまでの受診率向上対策として、年齢5歳ごとの節目

の無料クーポンの配付、健診料金の引き下げ、電話やハガキの受診勧奨、保健師の出前講座の実施などを行っており、受診率の評価については、できる限りの取り組みをした結果と受け止めている。

【特定健診受診率の推移】

平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
% 30.3	% 31.0	% 30.3	% 30.1	% 28.8

問 健（検）診受診率向上対策の検討状況は。

答 健（検）診受診者に健康ポイントの交付を行い、達成者に特典がある健康マイレージ事業の拡充や若年層を中心とした受診しやすい健診体制の整備を図っていききたい。

健診料金

無料化の考えは

問 疾病の予防、早期発見・治療で医療費を引き下げるため、国民健康保険加入者の健（検）診自己負担を無料とする考えはないか。また、各町内会をはじめ全町的な啓発運動を行う考えはないか。

答 美幌町の特定健診自己負担額は400円となっているが、

他市町村では、高い自己負担額であつても高い受診率となっていることから、無料化については慎重に検討したい。

また、啓発活動については、イベント会場での受診勧奨など様々な取り組みを行い、特定健診制度を理解してもらうよう、積極的に地域に出向いていきたい。

就学援助基準

引き下げの考えは

問 美幌町の就学援助率は、全道平均より低い。子どもの貧困率は年々悪化しているが、逆に就学援助率が低下している状況について、どのように考えるか。

答 就学援助率について道内類似団体を調査すると、沿岸地域や旧産炭地域の援助率が高いことから、

地域性による影響があると考えている。

問 美幌町の準要保護認定基準は生活保護法基準の1.3倍となっているが、給与収入を基礎としている。就学援助率引き上げのために給与所得控除後の金額を基礎とする認定基準に改める考えは。

答 オホーツク管内では、2町が給与所得控除後の金額を基準としているが、うち1町は、追加基準がある。改正予定はないが、教育に係る負担軽減について、子育て支援全体の中で調査・研究を進めていきたい。

人口減少 問 将来展望人口に向けた施策の実施は

上杉

晃史議員

答 効果検証後に戦略的な対策を進めたい



問 美幌町人口ビジョン及び総合戦略が策定されたが、人口の実績値と町独自の推計値及び将来展望値と比較した時の乖離状況は。また、その結果をどのように受け止めるか。

答 平成29年度の総人口の実績値は1万9千957人で、町独自の推計値と比較して383人、将来展望値と比較して213人上回っている。

総合戦略

点検・評価は

問 総合戦略では、将来展望した人口に向けて、必要な施策を定めている。施策の数値目標の点検・評価は。

答 基本目標1「地

また、出生数は、

平成22年から5年間の平均が159人であり、平成27年から3年間の平均は117人と減少している。

総合戦略に掲げている施策について、町民組織や庁内組織で効果検証を行い、戦略的な人口減少対策を進めていきたい。

域での基幹産業を守

り育て、強化するとともに新たな産業と雇用の場をつくる」

における目標の達成状況は、農畜産物販売額では、目標値を上回っているが、認証材の出荷額では下回っている。

基本目標2「びほろらしさを活かして、ひとを呼び込み・呼び戻す」における目標の達成状況は、20

40代の転入者数・転出者数ともに目標値を下回っている。

基本目標3「このまちで出会い結婚し、子どもを生み育てたい」という希望をかな

える」における目標の達成状況は、合計出生率・婚姻届出数ともに目標値を下回っている。

目標値を下回って

いる項目については、最終年限に目標値を達成できるよう取り組みたい。

問 今後の各施策の見直しをどの様に取り組むのか。

答 基本目標に掲げている施策を所管グループや町民組織で検証し見直しを行いたい。



庁舎建設アンケート

実施予定は

問 町の主要事業・計画策定時の町民アンケート実施状況は。

答 町の施策及び事業展開の参考とする「住民満足度調査」、第6期美幌町総合計画策定のための「まちづくりアンケート」の他、福祉・住宅施策関連の各種計画策定時など過去10年間で27件のアンケートを実施している。

問 新庁舎建設に関するアンケート実施予定は。

答 町民説明会及びパブリックコメントを実施しており、質問・意見を随時受付していることから、現段階でのアンケート実施予定はない。

間口削減 問 美幌高校支援の考えは

岡本
美代子議員

答 寮の運営補助やPR活動の支援を行う



問 少子化が進む中、美幌高校の間口を削減させないためにも町民挙げて応援する必要がありますが、他町村から比べ支援策が十分でない。管内高校の支援策について、どのように認識しているのか。

答 また、今後の美幌高校の支援は。管内の他町村では、地元高校の存続を目的として、生徒確保のため手厚い支

援策を行っているが、町村での生徒の奪い合いになっている。今後の美幌高校への支援については、農業科間口対策補助金や寄宿舎運営補助金による助成や美幌高校のPR活動にも支援をしていきたい。



グリーンビレッジ

整備予定は

問 本町では、美幌

ブランド認証制度に取り組み、特産品開発に力を入れる予定である。新製品開発のため、グリーンビレッジ農産加工室の整備ができないか。

答 農産加工室には、16種類の機器を設置しており、随時補修や更新を行っている。また、特産品開発の助成制度を創設し、グリーンビレッジにない機器の使用、技術支援について、道立オホーツク圏食品加工技術センターなどの協力をいただく。今後の特産品の開発に取り組む方のニーズを踏まえ、利用

しやすい施設運営に取り組んでいきたい。



～ グリーンビレッジ ～

新庁舎建設

新エネルギーの活用は

問 役場庁舎の二年間の光熱費の推移は。

答 役場庁舎の電気料金は、平成27年度で1千334万円、平成28年度で1千432万円。役場別館は、平成27年度で電気料金は、89万円、燃料費は18万円、平成28年度で電気料金は、100万円、燃料費は23万円となっている。

問 役場庁舎改築時のエネルギー対策についての現在の考えは。

答 新庁舎建設基本構想（案）においては、新庁舎の機能として、「環境に配慮した庁舎にするとともに、地球に優しい新エネルギーの活用などを検討する」としており、新エネルギー設備の費用対効果などを比較検討し、地域特性に適した機器の導入を検討したい。



「峠の湯びほろ」の管理運営が道央環境センターに

平成30年第2回臨時会（2月6日）は、美幌町交流促進センター（峠の湯びほろ）に関する条例改正、補正予算（債務負担行為）、指定管理者の指定について審議し、いずれも原案どおり可決されました。

平成30年4月から、「峠の湯びほろ」の管理運営は、株式会社道央環境センターが行います。

1 美幌町交流促進センター「峠の湯びほろ」条例の改正について

「峠の湯びほろ」で温泉水を供給できる規定を追加し、指定管理者の業務・収入とする。

2 平成29年度美幌町一般会計補正予算（第10号）について

「峠の湯びほろ」の維持管理委託料および回数券原価補償金に係る債務負担行為を設定。

（1）維持管理委託料

年間1,300万円の指定管理料を支払うこととして、指定管理期間の平成30年度から平成33年度までの4年間の指定管理料総額5,200万円と設定。

（2）回数券入浴原価補償金

平成30年度より、指定管理者に対して、新たな指定管理者の前に発行された回数券が利用された場合、その入浴原価を町が補償することとし、次期指定管理期間の平成33年度までの補償額について、債務負担を設定。



債務負担行為とは

支払いが将来的に発生する見込みで、今年中には支払う予定がないという場合に使われる予算の項目です。債務負担行為が予算に計上されていれば、数年間にわたって歳入と歳出のバランスを考えるのに役立ちます。

また、例えば工事などを受注する側の業者としても工事を行うお金が予算に債務負担行為として計上されていることで安心して数年間にわたる工事を実施することができます。

3 美幌町交流促進センター「峠の湯びほろ」指定管理者の指定について

「峠の湯びほろ」の指定管理が29年度末で満了となるため、公募結果に基づき、株式会社道央環境センターを指定。

【指定期間】

平成30年4月1日から平成34年3月31日まで。



高校生議会を開催しました!!



澤田悠樹 議員

問 中高生の健全な成長のための施設整備・運営の考え方は。

答 多目的運動場の建設を進め、安全・安心の施設管理に努めたい。



石川 匠 議員

問 皆が楽しめる祭の開催で町の活気が生まれるのでは。

答 多くの方が参加できる各種祭を開催できるように協議していきたい。



井澤虹太 議員

問 子どもが楽しめる行事の新設や内容の変更予定は。

答 子どもが安心して楽しめるイベントを実施していきたい。



高橋海月 議員

問 商業を活性化させるための情報発信の考え方は。

答 効率的で効果的な情報発信の方法を検討したい。

美幌町130年記念事業として、高校生模擬議会が1月27日、美幌町議会場で開かれました。美幌高校の生徒14人が一般質問を行い、まちづくりに対する思いを町長にぶつけました。伊藤議員と石川議員が議長を務め、質問の後、「希望あふれる美幌町の実現への決意を表明する決議」(P18)を全会一致で採択しました。



西川双葉 議員

問 街灯の少ない地域の安全について、どのように考えるか。

答 見守り活動や街灯のLED化で安心できる環境づくりを行いたい。



遠藤佑太 議員

問 美幌町のPRのため、特産品など代表するものを明確にしては。

答 美幌峠を核に観光振興を図り、カントリーサイン変更を検討する。



阿部将也 議員

問 まちづくりのため、町民アンケートを実施する考えは。

答 適宜、アンケートを実施し、あらゆる場面で意見を聞きたい。



梅田彩花 議員

問 医療費・保育料等の援助で子育て支援をする考えは。

答 子ども医療費を8月から中学校卒業まで拡大して援助する予定。



加藤沙彩 議員

問 介護を必要としない高齢者へのサポートの考えは。

答 高齢者の居場所づくり、長生きを楽しめるまちづくりに努めたい。



伊藤里久旺 議員

問 雇用の増大・消費拡大等のための大型商業施設誘致の可能性は。

答 誘致は困難だが、若者等が集える施設整備を調査・検討したい。



吉田安寿 議員

問 魅力的な美幌高校にするため、町をあげて応援する考えは。

答 就学助成や行事の支援、地域への情報発信を継続していきたい。



中山薫奈 議員

問 JR・バスでの自由のない登下校をするための対策は。

答 バス等の利用促進を図り、運行を維持する対策を検討したい。



遊佐百合菜 議員

問 若者の雇用増大対策について、どのように考えるか。

答 企業の支援による雇用の拡大や起業の推進を図っていきたい。



廣島 蓮 議員

問 交通事故をなくすための対策について、どのように考えるか。

答 カーブミラー等の効果的な設置や交通安全意識の高揚を図りたい。

議会報告会・意見交換会を開催

2月5日(月)、平成29年度第2回目の自治基本条例に基づく「議会報告会と意見交換会」を青稲地区ふれあい会館(昼の部)としゃきっとプラザ集団健診ホール(夜の部)で開催し、15名の方が参加しました。

大原議長から9月定例会・12月定例会・1月臨時会の審議内容(役場庁舎耐震診断結果、新庁舎建設など)について報告しました。

議会報告会に引き続き、参加者の皆さんと意見交換を行いました。主な内容は以下のとおりです。

- ◆公共施設の建設によって、後世に負担(借金)を残してほしくない。
- ◆新庁舎建設について、災害発生時に町の機能が損なわないようにしてほしい。



高校生議会

「希望溢れる美幌町の実現への決意を表明する決議」

高校生議会で決議した内容は以下のとおりです。



～伊藤里久旺 議員～

「私たちの町は農業を主要産業とした緑豊かな町です。また、町内を4本の国道が通り、女満別空港にも近いことから道東の交通の要衝とも言われています。しかし、私たち高校2年生が生まれた2000年に23,905人だった人口は、2017年末には19,957人と17年間で約4,000人(約17%)も減少しています。人口の減少のみならず少子高齢化も進み、2000年には19.8%だった高齢者の人口比率は2017年には33.9%へと増加していると共に、子どもや働く世代の人口が減少していることも深刻な問題です。私たち美幌高校生は、美幌町に生まれ育った生徒もそうでない生徒も、16歳から18歳までの3年間、青春時代を美幌町で過ごします。人口が減り続け、美幌高校への入学生も少なくなり、母校がなくなってしまうようなことになれば、それはとても悲しいことです。この先、今より町が活気づくことで、人口と若者世代の割合が増加し、美幌高校の生徒も増え、私たちの卒業後も様々な方面で、活躍する母校の話題が聞こえてくるようになって欲しいと願っています。よって本高校生議会は、美幌町の未来に希望が溢れるよう、この町を愛し、私たちの町をより良くするための努力を惜しまないことはもちろん、周囲の人々へ働きかけ、より多くの人々から美幌町が愛されるために全力を尽くすことを決意し、ここに表明します。以上、決議します。」

議会を傍聴しませんか

定例会は年4回(3月・6月・9月・12月)開かれ、議場入口にある受付票に住所及び氏名を記入いただければ、どなたでも議会を傍聴できます。

日程が正式に決まり次第、町のホームページなどでお知らせします。

議会報告会・意見交換会を開催します

- ◆開催日 平成30年5月30日(水)
- ◆場所 昼の部～美富集会室(午後1時30分)
夜の部～旭集会室(午後6時)

皆さんの生の声をお聞かせください。
お待ちしております。



あとがき

▼早くも町議会議員任期4年の最終年になりました。明るく住みよいまちづくりの実現に向けて、しっかりと議論を重ねてまいります。

▼6月定例会の皆さんの傍聴をお待ちしています。

▼議会広報は「議会の活動を町民に知っていただくこと」を目的に発行しており、議会と町民をつなぐ媒体として「伝えたいこと・町民が知りたいこと」に注意しながら編集作業を行っています。ご意見、感想をお待ちしています。(博之)

議会運営委員会

委員長 橋本博之
副委員長 戸澤義典
委員 吉住博幸
委員 上杉晃央
委員 稲垣淳一